


# 北海道新聞 釧路圏版

2006年(平成18年)7月27日(木曜日)

## 「橋って大きいなあ」

標茶小児童 架け替え工事見学



標茶小児童を招いて開かれた開運橋の工事見学会

【標茶】二〇〇二年から架け替え工事が進められている釧路川の開運橋で二十五日、標茶小児童を招いた建設工事見学会が開かれた。

市街地中心部にかかる開運橋は一八八九年に最初の木製橋が完成。一九七三年に架けられた三代目の橋が老朽化したため現在、四代目の橋の建設工事が進められている。釧路土現によると、新しい橋は全長二百一十七メートル、総事業費約二十五億円。十二月にも完成する見込み。

標茶小の四一六年生の児童約三十人が参加。橋の上に上がった児童たちは巨大な五百トン型クレーンで部品をつり上げる様子やボルトを締める作業などを興味深そうに見学していた。渡部知大君(五年)は「橋ってすごく大きい。このクレーンなら何でも持ち上げることができる」と感想を話していた。(広瀬浩一)